

令和3年 10月11日

自由民主党 御中

図書館友の会全国連絡会
代表 阿曾千代子

「公立図書館の振興・発展に関する政策」についての 公開質問状

私たち「図書館友の会全国連絡会」は、全国各地で公立図書館の振興・発展のために活動を行っております。毎年、文部科学大臣と総務大臣へ要望書を提出するとともに、主として文部科学委員会、文教科学委員会議員の皆様のもとへお伺いし、提出した要望書の概要をお話させて頂き、お力添えをお願いしております。皆様には日頃より、私たちの活動に深いご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。

ご承知のように、日本の公立図書館は先進諸国に比べ質、量ともに未だ低いレベルであるにもかかわらず、最近では地方公共団体の財政悪化により、資料費や人員の削減ばかりか、指定管理者制度導入による民営化など、多くの問題に直面しています。

新しい活力のある社会を築くためには、迂遠であっても、知力、文化力、技術力といった基礎的な力を身に付け、自ら考え判断する力を持つ人間が育つ環境を整備することが重要であり、それが民主主義社会を支え、わが国の繁栄につながるものと考えます。

2019年6月、活字文化議員連盟・公共図書館プロジェクトは、「公共図書館の将来―「新しい公共」の実現をめざす―(答申)」を提出しました。その策定にあたっては、私たちもプロジェクトメンバーとして参加しました。この答申は、公共図書館の現状とその課題を示すとともに、将来に向けた提言を掲げています。

私たちはこの答申の実現に向け、皆様と一緒に活動していきたいと願っております。

つきましては今回の衆議院議員総選挙に当たって、以下の項目について貴党のお考えをお聞かせ下さい。(マニフェストがあれば、その詳細な内容をお知らせ下さい。)

(1) 公立図書館の振興・発展に関する政策についてお考えをお聞かせください。

【回答】公立図書館は図書館法に規定される目的を達成するため、図書の貸し出し、レファレンスサービスを実施しており、地域住民にとって身近な学習拠点としての大きな役割を果たしています。

今後は、これまでの役割に加えて

- ① 新学習指導要領に明記された「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校との連携強化**
 - ② 障害者の読書環境の整備・充実**
 - ③ 地域課題の解決に役立つレファレンス機能の充実**
- など、学校や地域住民のニーズに対応できる情報拠点としての役割が求められていると考えます。

これらの新たな役割を果たすため

- ① 司書の研修の充実**

② 優れた取り組みを実施する公立図書館の奨励

③ 先進事例の収集・周知

によって、公立図書館のいっそうの活性化を推進していきます。

(2)「活字文化議員連盟・公共図書館プロジェクト」の「5つの提言」について、お考えをお聞かせください。

1. 首長の指導力と住民参画による図書館運営
2. MARC選択の多様性確保とNDCの付与
3. 図書納入は地域書店を優先
4. 司書の社会的地位の確立
5. 新しい評価指標づくり

<https://current.ndl.go.jp/node/38474>

<http://www.mojikatsuji.or.jp/policy/2019/06/27/3376/>

【回答】「5つの提言」はいずれも重要な視点であり、特に、公立図書館が地域のあらゆる生活課題に取り組むことや、司書の専門的能力の向上に努める必要があります。各設置者において、地域住民に対する図書館サービスの充実に資するような配慮をしつつ、地域住民の生活をサポートする図書館となるよう努めるべきものと考えます。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、10月24日までに、文書で下記連絡先まで、メールにてご回答下さいますよう、お願い申し上げます。

なお、ご回答は当会ホームページ等で公開させていただきますことをご了承下さい。

何かご不明なことがございましたら、どうぞご遠慮なく連絡担当迄お問い合わせ下さいますようよろしくお願い申し上げます。

【連絡先】図書館友の会全国連絡会 事務局長 船橋佳子（以下個人情報のため省略）

【参考】

「図書館友の会全国連絡会」HP <http://totomoren.net/index.html>